

平成28年度
阿久比町教育委員会事務
点検・評価報告書

平成29年9月
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第1項の規定により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

本報告書は、平成28年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

平成29年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	平成28年度教育委員会の活動状況	
1	教育委員会委員	5
2	総合教育会議の開催状況	6
3	教育委員会の開催状況	6
4	教育委員会後援名義使用の状況	6
5	学校訪問の開催状況	6
6	教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）	6
II	平成28年度主要施策（事務）の点検・評価結果	
	○学校教育関係	
1	幼保小中一貫教育の推進	9-10
2	学校施設及び設備の改修等の推進	11
3	新学校給食センター建設について	12
	○社会教育関係	
4	青少年健全育成の推進	13
5	文化・芸術活動育成の支援	14
6	子ども読書活動推進計画の推進	15
7	スポーツ活動の支援	16
III	学識経験者の意見 平成28年度教育委員会事務評価委員会報告書	
	評価結果	20-21

I 平成28年度 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

平成28年4月1日～平成28年9月30日

役職	委員名	任期	備考
教育委員長	松下 智子	H24. 10. 1～H28. 9. 30	
教育委員長 職務代理者	竹内 弘行	H21. 10. 1～H25. 9. 30 H25. 10. 1～H29. 9. 30	
教育委員	竹内 正順	H18. 10. 1～H22. 9. 30 H22. 10. 1～H26. 9. 30 H26. 10. 1～H30. 9. 30	
教育委員	加藤 まゆみ	H19. 10. 1～H23. 9. 30 H23. 10. 1～H27. 9. 30 H27. 10. 1～H31. 9. 30	
教育長	石井 勝巳	H25. 4. 1～H29. 3. 31	

平成28年10月1日～平成29年3月31日

役職	委員名	任期	備考
教育委員長	竹内 弘行	H21. 10. 1～H25. 9. 30 H25. 10. 1～H29. 9. 30	
教育委員長 職務代理者	竹内 正順	H18. 10. 1～H22. 9. 30 H22. 10. 1～H26. 9. 30 H26. 10. 1～H30. 9. 30	
教育委員	加藤 まゆみ	H19. 10. 1～H23. 9. 30 H23. 10. 1～H27. 9. 30 H27. 10. 1～H31. 9. 30	
教育委員	松下 智子	H24. 10. 1～H28. 9. 30 H28. 10. 1～H32. 9. 30	
教育長	石井 勝巳	H25. 4. 1～H29. 3. 31	

2 総合教育会議の開催状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成27年度より町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置。平成28年度は11月21日（月）に阿久比町立中央公民館305号室にて開催し、町の教育現場で抱える問題について検討した。議題は次のとおりである。

- ① 東部小児童急増への対応について
- ② 特別支援教育について

3 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例及び臨時教育委員会会議を開催し、議案39件の審議を行った。

- ・定例会 12回
- ・臨時会 2回

4 教育委員会後援名義使用の状況

継続して後援名義使用の事業については書類審査にて、新規事業については教育委員会会議において申請者に説明を求め、審議し可否を決定した。

申請数 48件 許可 46件 不許可 2件

5 学校訪問の開催状況

教育委員や教育長をはじめ、教育委員会の職員が学校へ出向き、学校での公開授業・特設授業活動などを視察した。その後、学校幹部と授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについて、より良い学校運営のための意見交換を行った。

開催日	学校名	備考
6月9日	東部小学校	
6月16日	ほくぶ幼稚園	
6月24日	英比小学校	
7月1日	阿久比中学校	
9月14日	南部小学校	
10月4日	草木小学校	

6 教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加等）

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
- ・愛知県市町村教育委員会連合会定期総会
- ・小学生海外派遣事業及び阿久比中学校海外家庭生活体験事業報告会
- ・2分の1成人式
- ・知多地方教育事務協議会
- ・知多地方教育委員研修会
- ・阿久比町教育委員会行政視察
- ・幼保小中一貫教育プロジェクト実践発表会
- ・現職教育発表会
- ・教職員辞令伝達式
- ・社明大会・青少年健全育成大会
- ・成人式
- ・生涯学習フェスティバル
- ・文協まつり
- ・人権教育講演会
- ・書き初め大会
- ・凧あげ大会 など

Ⅱ 平成 28 年度 主要施策（事務）の点検・評価結果

主要 施策	1 幼保小中一貫教育の推進
施策の 概要	<p>○中学校3年生における「めざす生徒像」を定め、阿久比町の子どもたちに生きる力を身につけさせ義務教育を修了できるよう取り組んでいる。幼保小中の職員(保育士・教員)、そして保護者や地域や行政職員を加えプロジェクトを組織し、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の実現に取り組んでいる。平成28年度は第4回目となる実践発表会を実施し、県内・県外からの参加者に対し、阿久比町の実践を発表した。</p>
取 組 状 況	<p>○一貫教育実践発表会の開催 第4回阿久比町幼保小中一貫教育実践発表会を開催し、公開したほくぶ幼稚園、英比保育園、阿久比中学校に、のべ375名の参加者を迎えた。また、午後からの発表会場である英比小学校では、各部会の「重点取組」と「継続的な取組」の発表や、文部科学省初等中等教育局視学官の田村学先生による教育後援会を実施し、272名の参加者を迎えた。</p> <p>○4部会の取組内容 <幼保小接続部> 幼稚園・保育園と小学校の接続に焦点を当て、新しく作成した小学校1年の「スタートカリキュラム」を実施し、見直しを図った。また、新転入者による保育園体験研修、27年度に卒園させた保育士等による小学校体験研修などステージを越えた体験も継続して行った。 <生活・健康部> 「ノーメディアデー」の機能的な推進として、阿久比町PTA連絡協議会とも連携して活動した。全保護者に町P連からのスマートフォン等の使い方について啓発する文書を配付した。また、町内小中学生に行ったアンケートを基に、教員対象の研修会を行ったり、そのアンケート結果を基として「阿久比町子どもサミット」で対策について話し合ったりした。その内容は小中学生からの宣言としてポスターにし、配布・啓発する予定である。 <小中接続部> 「阿久比サマースクール」や「冬休み部活動体験」を実施し、小学6年生の児童が中学校を訪れる機会を増やすことで、小学校から中学校へのスムーズな接続を目指した取組を実施した <研究部> 「学習の手引き」を利用した、家庭学習への保護者の協力のために、手引きを改訂して実施した。また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、地域の教育力の取組を推進した。</p> <p>○第5期に向けて 12年の取組が過ぎたことで、従来からの実践内容を検討し、焦点化を図った。 <部会再編> ・研究部、生活・健康部を統合し「啓発連携部」とする。家庭が中心となるあいさつ運動、親子ふれあい活動、家庭学習などで保護者・地域への啓発を目的とする。 ・新たに「特別支援教育部」を設ける。町特別支援教育指導員が幼稚園・保育園での巡回指導を実施することで、保護者との就学相談や学校との情報交換等「切れ目のない支援」体制を構築する。 ・推進会議の定期開催をとりやめ、校長会・園長会を通して、確実な取組を促す。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自己評価</p>	<p>◇ 千葉県、京都府、高知県等県外の参加者や、県内、知多管内の参加者を迎え、10月27日に第4回実践発表会を開催し、阿久比町の取組について発表したり、意見をいただいたりした。この発表会に向け、各部会による精力的な取組が展開された。</p> <p>◇ 従来からの取組も大切にしながら、今力を入れるべき取組については新規に部会を設置するなど、現在の教育状況と阿久比町の現状から、的確な取組が考えられている。今後は、幼保小中の大人の連携と共に、特別な支援を必要とする児童生徒など、子どもを中心とした連携のあり方について研究を進めていきたい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の課題</p>	<p>◇ 新学習指導要領の実施を目前に迎え、教育内容や方法が大きく変わろうとしている。それに合わせ、教員の指導内容・方法、評価方法、教育環境等も大きく変わらなければならない。また、障がい者差別解消法の施行など、一人一人を大切にしたい教育の推進も必要とされている。阿久比町が12年に渡って取り組んできた幼保小中一貫教育の財産を生かしながら、新たな取組等も絶えず考えていかなければならない。</p>

主要 施策	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
施策 の 概 要	○町内の4小学校及び中学校の校舎及び施設は、耐震工事は終了しているものの、各校とも校舎等の建築年が古く、老朽化による問題が多発している。そのため、最重要とすべき子どもたちの安全や、快適な教育環境の確保が困難となる場合があり、この問題を解決するため、学校施設及び設備等について整備、改修や修繕を実施している。また、東部小の児童数急増に対応した様々な整備も順次行っている。
取 組 状 況	<p>○空調設備設置工事 各教室に扇風機を設置していたが、温暖化に伴い気温が上昇していること、また児童生徒の体調を考慮し、平成24年度より、1年に1校ずつ普通教室に設置工事を実施している。平成28年度は英比小学校で実施し、ここに町内全小中学校普通教室への空調設備設置が完了した。(国庫補助事業)</p> <p>○トイレ改修工事 老朽化により、臭いやつまりが発生していること、また生活様式の変化により順次洋式トイレへの改修を行っている。平成28年度は東部小学校北校舎、草木小学校南校舎、南部小学校北校舎西側と3校で工事を実施した。(国庫補助事業)また、次年度に向けて、英比小学校北校舎について、設計委託をした。</p> <p>○インターホンの更新 設備の導入から40年ほどが経過し、老朽化のため故障・不調が各校で相次いでいる。古い機種のため補修部品がなく、修理不能である。急病や不審者の侵入など緊急時に使用できないことは問題であるため、平成26年度より1年に1校ずつ更新し、平成28年度は草木小学校で機器の更新を行った。既存のLAN回線を利用するタイプの機種とし、配線工事不要のため、コスト削減となっている。</p> <p>○その他の整備・改修・修繕 東部小児童用下駄箱設置、南部小ロッカー等改修、英比小南西校舎普通教室床張替、英比小プール滅菌装置等取替、草木小プールろ過装置修繕、英比小南西校舎給水設備修繕、英比小給食用昇降機運転ボックス修繕、阿久比中南校舎爆裂等改修、阿久比中学校西昇降口床修繕 ほか</p>
自己 評価	<p>◇空調設置工事では、全小中学校の普通教室への設置が完了した。教室内の快適な温度・湿度を提供できることから、阿久比町の児童生徒の体調管理、及び授業に集中しやすくなるため、長期的には学力の向上にも役立つと思われる。</p> <p>◇トイレ改修工事を毎年順調に実施し、清潔で臭わないトイレが増え、快適な環境を提供し、また和式トイレになじみのない子どもがトイレに行くのを我慢してしまう状況を減らすことができた。</p> <p>◇施設・設備等の老朽化等によって、校内での児童生徒の安全が損なわれたり、不便を強いている状況を、改修工事等を実施することで解決しており、教育環境の改善に寄与できている。</p>
今後 の 課題	<p>◇建築から長年経過した校舎が多く、改修を必要とする部分が非常に多いため、改修等の費用が多額となり、対応し切れていない。しかしながら子どもたちの安全確保、教育環境の改善のために少しでも必要な改修等に予算を確保していく必要がある。</p> <p>◇改修に多額の費用がかかってしまう前の軽微な損耗の内に、適切な改修を行うことで、長期的に予算額を増加させないようにしていくことが重要。そのためにも、専門家による調査の上、計画的な補修計画を検討していく必要がある。</p> <p>◇空調設置工事は、普通教室のみで特別教室は未設置。トイレ改修も、校内すべての洋式化はできていない。また、インターホンもまだ更新できていない学校がある。継続的に設置工事・改修工事等を進めていかなければならない。</p> <p>◇東部小における児童数激増に対応した施設整備を引き続き検討しなければならない。</p>

主要 施策	3 新学校給食センター建設について
施 策 の 概 要	○現在の施設は、経年により施設、内部設備ともに老朽化しており耐震診断結果（耐震性能不足）及び生徒、児童、幼児の増加による現給食センターの処理能力の限界を考慮すると、平成32年8月までに新たな給食センターを整備する必要があるため、新学校給食センターを建設する。
取 組 状 況	<p>○平成29年1月10日 第1回新学校給食センター建設内部検討委員会 平成29年1月25日 第2回新学校給食センター建設内部検討委員会を教育委員会、学校教育課、子育て支援課、検査財政課、産業観光課、建設環境課、校長会長をメンバーとして開催した。</p> <p>検討結果として、「建設の時期を、平成32年春までに施設を完成し、4月オープンを目指す。建設用地として、敷地面積、近隣の状況、交通の便等を考慮すると、一期一会荘隣の多目的広場が一番適当。事業手法として、正規職員の確保ができれば公設公営、職員の確保が出来なければ公設民営が良い。」となり、今後の方針として、「施設の建設については公設が好ましく、従来方式で設計・工事を行い、運営については、職員が確保できれば直営が良いが、確保出来なければ運営を民間委託（調理、配送のみ）する。」との町としての方針を決定した。</p> <p>○外部の意見を反映させるため、「阿久比町新学校給食センター建設検討委員会」を平成29年度に設置することとした。</p>
自 己 評 価	◇新たな給食センターを整備する必要があり、「食の安全・安心」に向けたアレルギー対応の必要性も踏まえ、整備にあたっては、事業手法や運営体制について、安全・安心でおいしい給食の安定供給を前提としている。「事業の効率化、維持管理コストの縮減及び財政負担の長期平準化の視点が重要」の観点から検討・検証しており、引き続きこの方向性で進めていく。
今 後 の 課 題	◇建設内部検討委員会の検討結果を町の方針とし、平成32年春頃までに、新給食センターを建設目標とすることから、スケジュール的に大変厳しいものとなっている。 基本計画作成、基本設計・実施設計、測量・ボーリング調査・造成設計、建設工事（造成・本体）、各種許認可の申請等、住民、建設検討委員会の意見を取り入れ効率よく実施していく必要がある。

主要施策	4 青少年健全育成の推進
施策の概要	○青少年健全育成の推進を図るため、青少年健全育成地区推進員連絡協議会を開催し、現状把握と育成活動について理解を深めている。また、地区推進員はそれぞれ総務・広報・環境部会に所属し、町が主体となる活動（下記の取組状況）及び地区が主体となる活動「親子ビーチボール大会・凧あげ大会・盆おどり大会」などの活動も推進している。
取組状況	<p>○青少年健全育成地区推進員連絡協議会（4月・6月・3月）の開催 本町の青少年を取り巻く有害環境の実態、青少年の現状について意見交換し共通理解を図るため次の活動経過及び計画について検討・協議している。</p> <p>社会を明るくする運動・青少年健全育成推進大会（全推進員） 「社会を明るくする運動」強調月間にエスペランス丸山において、日常生活で感じたことについて小学生・中学生・高校生（計6名）が意見発表した。また、アトラクションにおいては、チアダンスグループ「チアキッズGOGO」によるダンスを披露し参加者への啓発活動を行った。</p> <p>地域環境調査（全推進員） 地域で青少年に悪影響を与える落書き、有害広告物などの調査を実施した。</p> <p>一斉啓発活動（総務部） 「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」及び「子ども・若者育成支援県民運動」における県下一斉街頭啓発活動の一環として、ふれあいの森野外音楽会の会場で来場者及びアピタ阿久比店出入り口で来店者にチラシや啓発資材を配布し、青少年の非行防止及び健全育成の啓発活動を実施した。</p> <p>夏の非行防止活動（広報部） 町内で青少年が集まる場所（ショッピングセンター・コンビニ・マンガ喫茶・公園など）を巡回し、今後の対策のために店員から犯罪情報を聴き収集に努めた。</p> <p>環境美化運動（環境部） 阿久比高校生と合同で、名鉄阿久比駅構内の清掃及び駅周辺の除草作業を実施した。</p>
自己評価	◇青少年健全育成地区推進員連絡協議会では、町及び地区の活動について、それぞれの立場から意見を聴き検討・協議が行われ進められています。このことは、青少年の安全を守り犯罪を防止する上で大きな成果があり大切な事業だと評価したい。
今後の課題	◇「社会を明るくする運動・青少年健全育成推進大会」、「夏の非行防止活動」については現在、学校の協力のもとに活動を進めている。今後、青少年健全育成の推進に向け、更に学校との連携を深め協力することが重要である。現状に満足することなく、時代の変化に対応した活動の見直しや充実を図ることが必要である。今年度は、事業の見直しもあり「青少年健全育成推進大会」を単独で実施する予定でいる。

--	--

主要 施策	5 文化・芸術活動育成の支援																	
施策 の 概 要	○地域に根ざした文化の継承と特色のある文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を促進していく。施設の整備や活動発表の場を充実させるとともに、文化活動団体等との連携を推進する。																	
取 組 状 況	<p>○県文連芸能大会、美術展、県民茶会など県文化協会主催事業へ積極的に参加し、他市町の文化・芸術活動団体との交流を図った。</p> <p>○公民館教室や講座を修了した受講生を対象に、自主活動グループとしての新たな団体設立への働きかけを実施し、現在文化協会に加入している団体数は40団体とサークル協議会団体数は44団体となった。</p> <p>○生涯学習として参加者の自己研鑽の場を提供し、心の豊かさや生きがいとしての基盤を整備するとともに、講座の啓発に努めた。</p> <p>○公民館事業では、生活と文化芸術を結んでいる活動団体と連携して高齢者・青少年・親子・一般など28講座を延べ116回実施した。</p> <p>○地域住民の文化活動への参加意欲を促し、地域文化の振興に寄与するため、第31回国民文化祭・あいち2016、第65回阿久比町みんなの文化祭を開催した。</p> <p>○文化協会では、各団体同士での連携を図りながら、文化・芸術活動を実践し、文協まつり、あぐいふれあい盆踊りの夕べなどのイベントを通じて、あぐいの文化を発信し、住民相互の交流を図った。</p> <p>○学習したい方や自分の得意なことを活かして教えたい方が自ら企画するマイスタディ講座・マイプロデュース講座として5講座を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="359 1279 1350 1476"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th></th> <th>名 称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>idea Tai-chi やさしい気功</td> <td>4</td> <td>ビーズアラカルト</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>飾り巻き寿司&アイシングクッキー</td> <td>5</td> <td>親子リズムヨガ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ママのための英会話</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名 称		名 称	1	idea Tai-chi やさしい気功	4	ビーズアラカルト	2	飾り巻き寿司&アイシングクッキー	5	親子リズムヨガ	3	ママのための英会話		
	名 称		名 称															
1	idea Tai-chi やさしい気功	4	ビーズアラカルト															
2	飾り巻き寿司&アイシングクッキー	5	親子リズムヨガ															
3	ママのための英会話																	
自 己 評 価	◇第31回国民文化祭・あいち2016、第65回阿久比町みんなの文化祭を開催し、文化芸術の啓発と促進を図り、各文化団体及び個人が相互に連携して活発な文化活動を行い、阿久比町の文化発展に寄与するとともに明るいまちづくりに貢献した。																	
今 後 の 課 題	<p>◇文化協会所属会員の高齢化が見られる。あぐいふれあい盆踊りの夕べの運営が困難になってきたため、運営方法を検討する必要がある。</p> <p>◇多目的ホール（アグピアホール）のPRを推進し、文化活動の発信の場として、多くの方に利用してもらおう。</p>																	

主要 施策	6 子ども読書活動推進計画の推進
施策 の 概要	<p>○魅力ある図書館づくりを推進するためには、自発的な学習意欲に応えられるような蔵書や資料などの充実を図ることが求められる。子ども読書活動推進計画の推進は魅力ある図書館づくりの一環として重要な役割を担っている。</p> <p>○子ども読書活動推進計画の推進にあたり、広報あぐいに「子どもと本を読もう！」と題して、おすすめの本の紹介を行っている。</p>
取 組 状 況	<p>○保育園・学校との連携 子ども読書活動推進計画を推進するため、次のことを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育園児・幼稚園児を図書館へ招き、ボランティアの協力を得て、本の読み聞かせを行い図書館で絵本とふれあう機会作りができた。 ・各小学校の学校図書館の臨時職員と町立図書館の職員との意見交流会を草木小学校で開催し学校図書館と町立図書館の連携の必要性が理解できた。 ・文庫本を集めて「アグピー文庫」を設置し、小学生・中学生が、継続して読書活動ができるよう、また気軽に本に接してもらえるようにしているが、小学生・中学生だけでなく40代にも利用されている。 <p>○図書の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応えるため、図書館資料の整備充実を進め新刊図書の購入と、除籍をバランス良く行った。また、除籍資料を有効利用するためにリサイクルフェアを行い、保育園や幼稚園や小学校などの公共施設に優先的に払下げ、その後、一般の図書館利用者の希望者に無料で払下げをした。 <p>○作品の展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示ホールにおいて、生涯学習サークルの活動発表、社会福祉施設入所者の作品発表、各小中学校・高等学校の作品発表を開催し多くの図書館来館者から称賛の言葉をいただいた。
自 己 評 価	<p>◇子ども読書活動推進計画に伴う様々な事業を行うことで、子どもの自主的な読書活動にとどまらず大人も巻き込み、町民の生涯学習活動にも貢献できた。</p> <p>◇図書館資料については、新刊図書の購入と除籍とをバランスよく行うことができ、新しい情報を提供することができた。</p> <p>◇展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として大いに利用され、町の文化活動発展に役だった。</p>
今 後 の 課 題	<p>◇子ども読書活動推進計画を引き続き推進し、一般町民や子どもが自主的に読書活動のできる場所として広報等を利用し、図書館の利用をよりPRしていく必要がある。</p> <p>◇図書の購入は新刊図書と除籍のバランスをとり、常に利用者の要望に耳を傾け新しい情報提供に心掛けることが大切。</p> <p>◇魅力ある図書館づくりの一つに講座開催がある。開催にあたってはボランティア育成の場、家庭教育を支援する場として、また「リピーター」として来館してもらえよう、幅広い年代層が来館し、受講できる講座を実施していきたい。</p>

主要 施策	7 スポーツ活動の支援
施策 の 概要	<p>○阿久比スポーツ村、ふれあいの森などのスポーツ施設の施設整備に努め、全ての町民がスポーツに親しめる環境整備を推進し、利用促進を積極的に図る。</p> <p>○総合型スポーツクラブでさまざまな教室・講座等イベントを計画し、町民への更なる周知に努める。</p>
取 組 状 況	<p>○阿久比スポーツ村野球場においては、高校野球の大会会場、社会人野球チームの練習場として提供の他、町民体育祭における軟式野球大会、少年野球大会が行われた。また野球だけでなく、グラウンドゴルフ大会（町民体育祭、いきいきクラブ主催）も実施された。</p> <p>○陸上競技場においては、町小学生陸上大会を開催した。また、阿久比中・阿久比高陸上部の練習会場、愛知県市町村対抗駅伝競争大会（愛知駅伝）選手の練習会場としても利用を図った。愛知駅伝においては、指導者・選手の健闘により町村の部で、二年連続で第4位を獲得することができた。</p> <p>町主催のマラソン大会は残念ながら前日の大雪により中止になったが、3月に知多5市5町による阿久比町近郊リレーカーニバルが開催され、869人の小中学生選手が参加した。</p> <p>知多地方中学校体育大会のサッカー種目をはじめ、各種サッカー大会の会場としても利用された。</p> <p>○スポーツ村トレーニング室を月・水・金曜日午後9時まで夜間開放し、月に4回インストラクターを配置するなどして利用者の増大に努めた。</p> <p>○施設整備についてスポーツ村野球場では「スタンド改修（塗装）工事」を行った。ふれあいの森では「パターゴルフ場」のグリーン張り替えや、「ターザンロープ」と呼ばれる遊具の補修工事を実施し、来場者が満足できるように努めた。また日頃の整備を進めるにあたり、ライムソワー（芝肥料蒔き機：スポーツ村）・噴霧器・パターゴルフ来場者用ロッカー（ふれあいの森）を購入した。</p> <p>○総合型スポーツクラブのイベントにおいては、これまでの教室に加え、「ミニテニス」・「吹き矢」など、ニュースポーツ教室の人気が高まってきている。参加者からの好評も得ており、サークルも立ち上がりつつある。</p>
自 己 評 価	<p>◇施設の老朽化が進んでいるが、安全なスポーツ環境と魅力あるスポーツ施設を目指すため、早急な整備が必要な部分については直ちに実行できた。</p> <p>◇総合型スポーツクラブについては、スポーツ推進委員会をはじめ、各種指導者の協力の下、活気ある教室を展開できた。</p>
今 後 の 課 題	<p>◇スポーツ施設の老朽化(特にスポーツ村)が進んでいるため、突発的な修繕に迅速に対応をし、また計画的な工事をするなど利用者側に立った施設整備を図る。</p> <p>◇誰もが取り組めるスポーツをスポーツ推進委員等と検討し、スポーツ人口の増大に努める。特に高齢者や障がい者の方が気軽にできるものを考えることが課題。</p> <p>◇総合型スポーツクラブは自立した魅力あるクラブに向けての指導を図る。</p>

Ⅲ 学識経験者の意見

平成28年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会事務評価委員会

平成 28 年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 石 井 勝 巳 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、平成 28 年度の阿久比町教育委員会事務について、平成 29 年 7 月 10 日、7 月 24 日、8 月 3 日と 3 回の委員会を開催し、点検・評価を行った。以下に、評価結果を報告する。

平成 29 年 8 月 4 日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 田 原 泰 介（元社会教育指導員・元小学校長）

新 海 洋 生（主任児童委員・元小学校長）

吉 住 まり子（元あぐい女性の会会長）

評価結果

主要施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
<p>○その時々今日の課題も取り入れて研究を進め、第4回実践発表会を開催したことは評価できる。阿久比町の教育活動として定着してきており、めざす生徒像を念頭に今後も進めてほしい。</p> <p>○ノーメディアデーの浸透のために全保護者への文書配布、小中学生へのアンケート、それをもとにして教員の研修会、小中学生からの宣言のポスター作成と常に分析や見直しが行われ、工夫した活動が実践されており評価できる。</p> <p>○新設の「特別支援教育部」での特別支援教育指導員の巡回指導は保護者に寄り添った活動であり、高く評価したい。</p>	
主要施策名	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
<p>○平成24年度の阿久比中学校に始まり、各学校の各教室への空調設備の設置が完了した。「阿久比町は子どものことを考えている」という声は他市町ではあがっている。子どもを大切に育てていこうとする姿勢がうかがわれ、素晴らしいことである。今後も学校施設の充実に努めてほしい。</p> <p>○生活習慣の変化から各校のトイレの洋式改修工事は、今後も必要である。また、体育館のトイレの洋式化は、地域の避難所としても早急に取り組むべきものである。住民の安全・安心への関心も高まっており、ぜひともお願いしたい。</p> <p>○施設及び設備の老朽化によってのみ進められている工事が多い。大改修になれば、それだけ費用も多額になる。逐次、優先順位を決めて早急な対応が望まれる。</p>	
主要施策名	3 新学校給食センター建設について
<p>○「阿久比町新学校給食センター建設検討委員会」が設置されるが、町民・保護者のアンケート実施、他市町の状況把握など、外部の意見を反映させるための方策を検討してほしい。</p> <p>○児童・生徒の増加、耐震により学校給食センターの新設に向けて計画が進められている。大事業であり、完成までには苦労が多いと思われるが、阿久比町の子どものためにより良い学校給食センターの建設を希望する。新施設にはアレルギーに対応できるヤードも考えられる。ぜひ実現してほしい。また、アレルギー対応の特殊性・専門性から考えると十分な検討を期待する。</p> <p>○事業手法については、費用対効果も考えると、公設民営（調理および配送の民間委託）が望ましい。</p>	

主要施策名	4 青少年健全育成の推進
<p>○青少年健全育成の推進のために年間を通して現状把握と育成活動が進められている。「親子ビーチボール大会、凧あげ大会、盆踊り大会」など地域と関わって実施される行事が進められていることは評価できる。</p> <p>○青少年を取り巻く環境は激変し、SNS、インターネットなどトラブルが深刻化している。ネットパトロールなど新たな活動にも取り組んでほしい。</p> <p>○地域環境調査や非行防止活動で得られた情報の共有化・活用を図る取り組みを進めてほしい。</p>	
主要施策名	5 文化・芸術活動育成の支援
<p>○各団体の生涯学習としてのさまざまな活動や取り組みは評価できる。今後、より一層の活動の高まりを考えると、指導や支援が重要である。</p> <p>○学習したい方や教えた方が企画するマイスタディ講座、マイプロデュース講座が開催されている。こうした主体的な活動を支える体制があることは大いに評価する。ただ、前年度と同じような内容の講座が開催されている。一部のグループの活動になってはいないか検証をし、この活動が広がるように期待する。</p> <p>○多目的ホールが完成した。利用状況の実態把握・課題検討、今後の展望など、文化・芸術の創造に向け基本的な考えを持って検討していく必要がある。</p>	
主要施策名	6 子ども読書活動推進計画の推進
<p>○子ども読書活動推進のために「本の読み聞かせ」「学校図書館の司書との意見交換会」「アグピー文庫の設置」が実施されていることは素晴らしい。</p> <p>○子ども読書活動推進のための活動が行われているが、反省点を見出し、分析をし、今後の活動に活かしてほしい。PDCAサイクルを活かした取り組みが望まれる。</p> <p>○読み聞かせグループ「ぶんぶん」の評判が良く、父親の参加も増えるなど多くの親子が毎回参加している。今後も継続してほしい活動である。</p>	
主要施策名	7 スポーツ活動の支援
<p>○健康志向の高まりでスポーツ村のトレーニング室も多くの人が利用している。今後、利用拡大を図るための取り組みを工夫してほしい。</p> <p>○住民が積極的にスポーツに親しめるよう施設を充実させることが必要である。また、施設の老朽化も進んでおり、この対策も課題である。</p> <p>○住民の誰もが楽しめるニュースポーツの取り組みは大いに評価できる。町の名物スポーツとして普及拡大を図ることの検討も期待する。</p>	